

相談室だより



令和5年 7月 1日
鯖江市進徳小学校

蒸し暑い日が増えてきましたが、子どもたちは、元気に登校して休み時間には外で楽しそうに遊んでいます。しかし、新生活に慣れてきてしばらくたったこの時期に、お子さんが心身の不調を訴えることがあるかもしれません。お気づきのことや心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

～高田カウンセラーより～

日差しが強まっています。どうぞ、ご家族でこまめな水分補給を心掛けて、熱中症にならないよう気をつけていきましょう。今回も1つの症状を取り上げて、考えていきたいと思えます。

今回は『吃音症』です。

吃音とは、なめらかに話すことが出来ない状態のことで、最初の音を繰り返す、音を伸ばしてしまう、言葉に詰まってしまう、「サ行」などの特定の音や言葉を出すのが苦手であるなど、症状は様々です。

そのうち、苦手な音を避けて別の言葉に言い換える方法を身につけていくそうですが、頭の中で常にその作業をしているので、吃音の人は1日が終わる頃にはぐったりしてしまうと聞いたことがあります。

周囲の人は話し方を注意せずに、話す内容に注目し、ゆっくり聞いてあげる姿勢が必要です。気になる際には、市保健センター「ことばの教室」や言語聴覚士のいる医療機関などに相談してください。吃音の方々のサークルに参加することもひとつかもしれません。

社会人になっても症状が続く場合もあります。以前、新聞でこのような記事を読みました。

「吃音とともに生きる。」

しゃべるのは苦手だけれど、自分が切り開く。『聞く力』を強さに看護師の道をもどかしさは常にある。けれど、手応えを感じている。傷ついた様々な体験も、今はチャレンジ精神で笑顔に変えられる。誰かのために役立ちたい、それが今の自分の原点です。

この記事を読み、お互いの持ち味を大事にする社会でありたい、と強く感じました。

《7月のカウンセラー来校日》

7月 5日 (水) 10:30～13:30

7月14日 (金) 10:30～15:00

14日(金)は、教育懇談会にスクールカウンセラーの相談を申し込まれた方との面談になります。ご了承ください。



教育相談担当 教務

【TEL】53-1503